

祝 辞

厳しい冬の寒さの中にも春の訪れを感じることでできる季節となりました。本日、中部学院大学、中部学院大学短期大学部を卒業される皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。在学生を代表して一言お祝いの言葉を申し上げさせていただきます。

今日3月18日という日に部活動やゼミの仲間、大切なご友人の皆様と共に卒業式を迎えられていることは奇跡だと思います。卒業式は一般的な行事だと思われるかもしれませんが。私も以前はそう思っていました。しかし、先輩方がお過ごしになった2年間、または4年間のコロナウイルスによる多大な影響を受けた学生生活から、今までの「あたりまえ」は「普通」ではなかったということ学びました。遊び、学び、部活動等の場は奪われ、耐える日々だったことでしょう。

しかし、悪いことばかりでなく得た力も大きいのではないのでしょうか。そんな日々を乗り越えられた皆様だからこそITを活用する力や人と繋がる大切さ、今を生きるあたりまえの大切さをどの世代よりも身をもって実感されたことだと思います。先輩たちは誰よりも生き抜く力を持っています。

この先、社会という場に出て、新しい事に挑戦し続ける日々になるでしょう。そんな皆さんに今年度話題となったワールドカップにちなんで、挑戦する時に言い聞かせるロバルト選手の言葉をお送りします。「PKを外すことができるのはPKを蹴る勇気を持ったものだけだ」。全ての行動には大きな責任が伴い、失敗することや大きな壁にぶつかることもあります。しかし、失敗することができることも、壁にぶつかることも、その場に立った者だけが、挑戦しようとした者だけが、得られるもの、得られる経験値です。先輩たちが生き抜いた時代だからこそ身につけた視点や考え方を活かしてあらゆることに挑戦していきましょう。辛い時、諦めそうになった時には学んだ事、経験した事を自信に変え、立ち向かっていきましょう。しんどい時には少し休んでもいいと思います。あなたの周りにはたくさんの助けてくれる人が、仲間が必ずいます。助け合う心を、感謝の心を、忘れないでください。私達も前を突き進む先輩方の姿に負けないように勉強も部活も遊びも全力で挑み続けることを誓います。

最後に全学生を代表としてこの場に立たせて頂いたことに感謝し、皆様のご健闘を心からお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

2023年3月18日

在校生代表

スポーツ健康学部スポーツ健康科学科

小久保 夏芽